

○水生生物モニタリング調査結果一覧（相馬市沖L）

<相馬市沖L 水質底質採取項目>

項目 調査地点	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
L-1	—	○	—	—	○	—
L-2	○	○	○	○	○	○
L-3	○	○	○	—	○	—

<相馬市沖L 現場測定項目>

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時			水質					底質		その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (℃)	泥温 (℃)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透明度 (m)		
L-1	37.8210°	140.9610°	H28. 8. 26	—	10:11	—	25.8	砂混シルト	10Y3/1	なし	—	—		
L-2	37.8155°	140.9763°		08:05	09:36	25.0	25.5	シルト混砂	7.5Y5/2	貝殻、植物片	1.8	>1.8		
L-3	37.8217°	140.9765°		08:24	09:52	25.1	25.6	砂混シルト	10Y4/1	なし	1.4	>1.4		

<相馬市沖L 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
L-2	37.8155°	140.9763°	H28. 8. 26	08:05	8.0	<0.5	2.8	6.3	4640	30.16	1.1	6	3.4	0.0049	0.032	0.0010
L-3	37.8217°	140.9765°		08:24	8.0	<0.5	3.4	6.7	4470	28.90	1.1	5	2.9	0.0031	0.019	—

<相馬市沖L 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E <sub>N.H.E</sub> (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm <sup>3</sup> )	粒度組成								Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)	最大粒径 (mm)			
L-1	37.8210°	140.9610°	H28. 8. 26	10:11	7.9	-9	32.9	2.1	4.7	2.688	1.7	5.8	27.3	42.2	11.9	11.1	0.19	9.5	11	90	—
L-2	37.8155°	140.9763°		09:36	7.7	241	23.6	1.1	3.2	2.726	1.7	8.0	76.3	9.4	1.1	3.5	0.42	9.5	9.5	54	N.D. (0.13)
L-3	37.8217°	140.9765°		09:52	7.8	248	25.2	1.1	2.2	2.705	0.0	0.4	43.9	47.7	2.0	6.0	0.23	2.0	8.7	36	—

<相馬市沖L 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム (Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)	
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137		
L-1 L-2 L-3	松川浦	37.8210° 37.8155° 37.8217°	140.9610° 140.9763° 140.9765°	H28. 8. 26	藻類・植物	—	—	—	—	—	プランクトン (浮遊藻類)	—	0.020	—	—	—	19.8	2.8	17	—
					藻類・植物	単子葉植物	イバラモ	アマモ	<i>Zostera marina</i>	アマモ	—	1.4	—	—	—	—	0.59	0.13	0.46	—
				H28. 8. 20	節足動物	軟甲	アミ	アミ	—	アミ科	—	0.29	成体	—	—	—	4.06	0.66	3.4	—
					節足動物	軟甲	エビ	モクスガニ	<i>Hemigrapsus sp.</i>	イソガニ属	110	0.23	成体	—	—	—	2.37	0.37	2.0	—
				H28. 8. 24	軟体動物	二枚貝	ガキ	イボガキ	<i>Crassostrea gigas</i>	マガキ	18	0.27	成体	—	—	軟体部	1.2	N.D. (0.36)	1.2	—
					軟体動物	二枚貝	マルスタレガイ	マルスタレガイ	<i>Ruditapes philippinarum</i>	アサリ	90	0.31	成体	—	—	軟体部	3.53	0.53	3.0	—
				H28. 8. 20	脊椎動物	硬骨魚	スギ	ボラ	<i>Mugil cephalus</i>	ボラ	12	0.18	未成魚	不明	—	内臓除去	1.7	N.D. (0.57)	1.7	—
					脊椎動物	硬骨魚	ニシ	ニシ	<i>Konosirus punctatus</i>	コノシロ	119	0.50	未成魚	—	—	—	3.62	0.62	3.0	—
脊椎動物	硬骨魚	フグ	フグ	<i>Takifugu niphobles</i>	クサフグ	2	0.19	成魚	不明	—	内臓除去	2.1	N.D. (0.44)	2.1	—					

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。